

- 1 単細胞などで構成され、肉眼では見えにくく、顕微鏡を使用して観察する必要がある非常に小さな生物を何という？
- 2 生物の進化において、現在の形や使い方は異なっているが、発生の起源や構造上の成り立ちが共通している器官を何という？
- 3 生殖細胞の合体によって最初に作られる、個体の始まりとなる細胞を何という？
- 4 二酸化炭素と石灰水が反応したときに生成される、白い沈殿物となる物質を何という？
- 5 自家受粉を繰り返し、親と同じ形質を安定して現すようになった個体の系統を何という？
- 6 自家受粉を繰り返しても、代々親と全く同じ特徴を持つ個体しか生まれない集団を何という？
- 7 精子や卵のように、次世代へ遺伝情報を引き継ぐために、染色体数が通常の半分になる特別な細胞を何という？
- 8 生物が持っている、種子の形や色といった特徴を総称して何という？
- 9 植物が光エネルギーを用いて養分を作る際に、副産物として大気中に放出される気体は何？
- 10 動物のオスがつくる、受精のための細胞を何という？
- 11 植物の細胞の中に存在し、光合成を行うためのエネルギーを受け取る働きをする緑色の粒を何という？
- 12 生物の細胞内に存在し、親から子へ形質を伝える物質が含まれる構造体を何という？
- 13 動物において、減数分裂が行われる生殖器官のうち、雄側に見られる組織を何という？
- 14 自然界で枯れ葉や死骸などの有機物を、植物が再び利用可能な無機物へと作り替える役割を担う生物を何という？
- 15 受精卵が分裂と分化を繰り返し、多細胞生物の体を形作っていく過程を何という？
- 16 対立形質を持つ純系同士を掛け合わせたとき、子に現れる方の形質を何という？
- 17 太陽のエネルギーを用いて、無機物から有機物を作り出す働きを何という？
- 18 被子植物の受精において、花粉から作られ、胚珠内の卵細胞と結合する役割を持つ細胞を何という？
- 19 ある一つの形質において、互いに異なる状態を持つペア（例：丸い種子とシワのある種子）のことを何という？
- 20 生物の集団の中に現れた多様な性質のうち、その環境で生き残るのに有利なものが子孫に受け継がれ、長い年月を経て集団全体の性質が変化していく過程を何という？
- 21 物質に電流を流すことで、元の物質とは性質が異なる2種類以上の成分に分ける方法を何という？



① 書く
鉛筆で答えを書く

② 隠して言う
赤シートで赤字を隠す。白黒なら右の列を折る

③ 印を付ける
言えたら□にチェック

問	解説	▼ここで折る	答え	言えた
1	<u>微生物</u> は単細胞またはごく少数の細胞で構成された生物の総称です。		<u>微生物</u>	☐
2	例えば、ヒトの腕、鳥の翼、クジラのひれは、外見や役割は全く異なりますが、骨格の基本的な配置や発生過程を調べると共通の構造を持っていることがわかります。		<u>相同器官</u>	☐
3	<u>受精卵</u> は、精子と卵の核が融合することで誕生します。		<u>受精卵</u>	☐
4	これはカルシウムと炭酸イオンが結びついた化合物です。		<u>炭酸カルシウム</u>	☐
5	<u>純系</u> とは、遺伝子の組み合わせが均一で、自家受粉を行っても親と同じ形質の子しか生まれない個体群のことです。		<u>純系</u>	☐
6	この状態を <u>純系</u> と呼びます。		<u>純系</u>	☐
7	<u>生殖細胞</u> は、減数分裂という過程を経て作られます。		<u>生殖細胞</u>	☐
8	生物の外見、体の構造、機能など、親から子へ遺伝する特徴を指す言葉です。		<u>形質</u>	☐
9	水と二酸化炭素から栄養分を作る過程で、この気体が副産物として発生します。		<u>酸素</u>	☐
10	<u>精子</u> は、主に尾を持っていて動き回れる構造をしており、メスの体内で卵に到達して結合します。		<u>精子</u>	☐
11	この器官内には「クロロフィル」と呼ばれる緑色の色素が含まれており、これが太陽光を吸収して光合成の反応を開始させます。		<u>葉緑体</u>	☐
12	<u>染色体</u> は細胞の核の中に存在し、DNAという物質が折りたたまれて構成されています。		<u>染色体</u>	☐
13	<u>精巣</u> は、雄の生殖器官であり、減数分裂によって染色体数が半分になった精子を継続的に作り出します。		<u>精巣</u>	☐
14	<u>分解者</u> は、生物の死骸や排泄物に含まれる有機物を、再び植物が吸収できる無機物に分解する生物です。		<u>分解者</u>	☐
15	<u>発生</u> とは、受精卵が細胞分裂を繰り返し、特定の形を持つ生物の体へと変化していく過程のことです。		<u>発生</u>	☐
16	なお、最近の教科書では「 <u>顕性</u> 」という言葉で表現されることもあります。		<u>顕性</u>	☐
17	<u>光合成</u> は、緑色植物などが太陽の光エネルギーを利用し、水と二酸化炭素から炭水化物などの有機物を作り出す働きです。		<u>光合成</u>	☐
18	その中で <u>精細胞</u> が移動し、胚珠内の卵細胞と結合して受精が完了します。		<u>精細胞</u>	☐
19	エンドウの実験では、種子の「形（丸い・シワ）」や「色（黄色・緑）」、茎の「長さ（長い・短い）」などが <u>対立形質</u> として扱われます。		<u>対立形質</u>	☐
20	個体間で性質にばらつきがある場合、その環境下で生存や繁殖に有利な性質を持つ個体は生き残りやすくなります。		<u>自然選択</u>	☐
21	水に少量の水酸化ナトリウムなどを加えて電流を流すと、水が水素と酸素に分かれるといった現象が代表的です。		<u>電気分解</u>	☐

言えなかった用語ノート